



観光の道を
つなげていきます

宗像の
キーワードは「道」

Go! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第40号

■ 観光立市むなかたの実現を！

宗像市の観光政策は観光プラットフォームを2015年に宗像観光協会に委託、世界文化遺産登録やコロナ禍を経て、2023年に宗像観光協会が登録DMOとして認可され観光地域づくりを推進しました。しかし、従来から不足している戦略、情報発信、交通、観光商品造成などの課題が解決されずに積みあがっている状態です。この根本的な原因は、国の考えた理想と地方の実行する現実にギャップがあり、組織を運営する人材と資金の不足だと考えます。

これは全国的な課題ですが、宗像にはこの状況を打破し解決ができる変化が起こっています。その変化は3つあり、＜アフターコロナの価値観の変化＞宗像の豊かさをコンテンツにすることの価値が向上しました。＜デジタルテクノロジーの進展＞金や時間がかかり実現不可能なことがデジタルの力で可能になりました。＜プレイヤーの変化＞宗像の観光にポテンシャルを感じる人材が多く参入してきました。



DMOの人材と資金不足を解決する「人材獲得1000万プラン」を提案しました。国の地域プロジェクトマネージャー制度を利用して、DMOでマネジメントとマーケティング、デジタルツールの活用等が出来る人材を最大年収1,000万円をうたって募集。国から650万円の報酬を基本給、DMOからは、成功報酬として350万円、最大1,000万円の年収を提示すれば、ニュースバリューや波及効果があると考えました。

この変化を読み取り観光立市を成し遂げるための道程を考えました。最初に、DMOの人材の問題を解決して組織づくり→民間事業者のマインドを刺激するために、人の流れを呼び込む仕組み作り。道の駅の170万人、グローバルアリーナの40万人の来訪客を周遊させる仕掛け、福岡市、北九州市の観光客には、オプションルツアーを提供→観光コンテンツを磨いて、商品の増加→アプリ等を利用して交通をつなげる→最終的に大島が宿泊を伴う観光地になる、という観光の道を考えています。

宗像のコンテンツは、食、自然、世界遺産、人、スポーツなどと、幅広ですが、共通しているのは豊かさだと思います。これを磨き上げて宗像の豊かさを観光の商品として可視化します。宗像の豊かさを買うことで、その人の人生が豊かになるというようなストーリーをつくり共感をよぶことが観光立市むなかたにつながる道になると考えます。

■ 宗像の豊かさを観光コンテンツに！

食

郊外で食事をして買物、が近隣観光のスタイルです。宗像の古民家や隠れ家レストランが人気を呼び、都市部からレストランの移転も多く、「宗像は野菜等の一次産品が良く魅力のある場所」と注目を浴びています。食のまちとして、古民家で有名店のシェフが宗像の食材で料理するイベントを行い、出店や誘客につなげてはどうかと提案しました。食の豊かさを可視化して、ゆっくり食事を取り、買物や宿泊をして、さらにお金を落としてもらおう仕組みが必要です。

島

大島に魅力を感じる島外プレイヤーにヒアリングをすると、「恵まれた自然や文化的な価値に引かれポテンシャルがある」「沖ノ島信仰を基礎にした文化やなりわい、自然の恵み、世界遺産の神秘性が魅力」「2度目の来島のきっかけをつくるためコンテンツを作成したい」などの声がありました。宗像の観光のゴールは大島が観光地になることだと考えます。島内外のプレイヤーの変化を機会に観光コンテンツを磨き、都市部から大島に行くオプションツアーや大島に行くために宿泊する観光プランの作成が必要です。

スポーツ

グローバルアリーナは「共に戦いたい熱量のある仲間」としてひのさと暮らしLABOが応援しています。年間来場者数40万人の経済波及効果を調査して多額の効果とスポーツツーリズムの可能性を確認しました。グローバルアリーナを中心としたスポーツコミッションとDMOが連携し、スポーツ観光に投資して、お金を落としてもらい回収する仕組みが必要です。

交通

つながらない交通手段が課題でしたが、デジタル技術を活用した解決の道があります。観光MaaSとは、観光客を対象に観光地までの移動手段をワンストップで提供するサービスで、公共交通機関やタクシーなど、最適な経路を提案して、それに伴う事業者の検索、予約、決済などが可能です。これにあわせて、タクシー相乗りアプリが提供されており、タクシーのシェアで、利便性の向上と相乗りにより1人当たりの負担を下げる事が可能です。

観光DXが進展し、情報発信やマーケティングのデータ収集、マネジメントのオンラインサービスなど「こんなことが出来るようになったのか」と驚きます。うまく活用して人とデジタルの組み合わせで最適解を求めていくことになります。



ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

fb 日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

4月 金海市で行われた国際的文化交流フェスティバルに招待されました。規模の大きさに驚きました

5月 竹の子は豊作でしたが、野苺と梅は不作。気温や虫の影響らしく、生業としての農業の大変さを実感します。ツール・ド・ムナカタが行われ、国内外のクラシックカーが、道の神様である宗像大社、そして赤間宿、鎮国寺に集い、イベントやラリーが行われました。ひのさと48三周年イベントではまき割りアトラクションを行いました

6月 山笠の総決起集会が行われ、準備が本格的にスタート。今年も東郷小の山笠教室やてっぽう作りで毎日のように学校に行きます

宗像市議会議員 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
令和2年 宗像市議に三選を果たす
現 在 宗像市久原に在住

宗像市議会副議長
東郷地区青少年指導員会長

